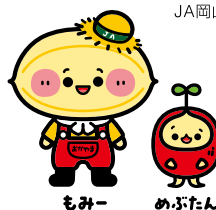


ぱれっと



11

2025 November
vol.303

今月の表紙写真
収穫のよろこび

表紙写真
募集中!

詳しくはP15へ



笑味ちゃん天気予報が できるまで

農を担う
モモ・ブドウ農家 入江 さんご夫婦
津高(富吉)地区……10ページ

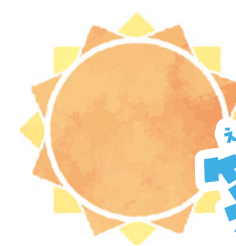
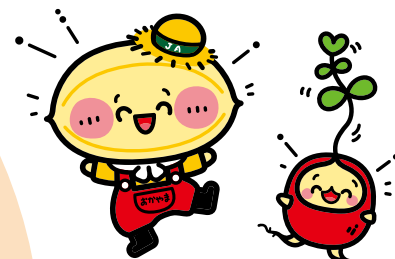
今月の折り込み 2025年11月号カタログショッピングチラシ ほか

放送当日



いよいよ放送日!
生産者の方の紹介は、番組中の
「JA便り」コーナーで
放送されます。

色んな人の
力が合わさって
放送されるよ!



笑味ちゃん天気予報が
できるまで

JAグループ プレゼンツ

笑味ちゃん
天気予報

©みんなのよい食プロジェクト

笑味ちゃん天気予報は、毎週月曜日から金曜日の18時50分からRSK山陽放送で放送しています。
2014年4月から始まったこの番組では天気予報だけでなく、
『農業を元気に、農家を元気に、地域を元気に』を合言葉に、明るく元気な岡山県の農業についても
放送されています。今回は生産者の方を紹介する「JA便り」の取材をメインに、
笑味ちゃん天気予報ができるまでの裏側をお伝えします。

収録&
編集



取材は午前中に行われ、
その日の午後にはRSKのスタッフに
よって編集されます。

日程調整



取材先が決まったら、広報担当より生産
者の方へ連絡します。主な取材内容
をお伝えし、収録の日程などを調整します。

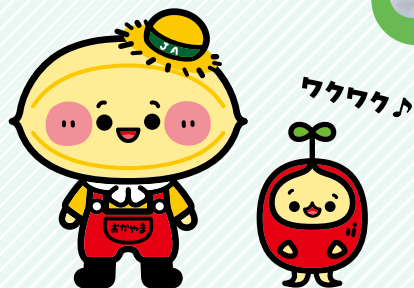
取材先
選定



各営農センターの
職員により、取材先の選定や
取材交渉をします。

スタート!

それぞれの工程を
もっと詳しく
説明するよ♪



次のページへGO!

放送日

いよいよ放送当日!

笑味ちゃん天気予報の放送時間は10分程度です。

オープニングダンスから番組が始まり、お天気情報はもちろん、季節の話題もお伝えします。

生産者の方の紹介は番組中の「JA便り」で紹介されます。

JA便りは放送時間が2〜3分程度ですが、たくさんの人の力が集結して放送されています。

ココにも注目!

スタジオの飾りは
その日に取り上げる
内容に合わせて
入れ替えています。



取材先を決めよう!

笑味ちゃん天気予報では、曜日によって放送する内容が決まっています。

(番組編成によって内容変更の場合あり)

取材先選定時には、こちらを基に依頼させていただいています。

週間予定 weekly

月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
農業の 担い手紹介	旬の農産物 紹介	旬の 食材料理	JAの事業や 活動について	直売所 リレー
月に1回農業科等が 設置されている高 等学校の活動紹介	今年の4月から月に1 回「ハロー植田の農 業“愛のままに♪”」が 放送されています	火曜日に放送した 生産者の方の食材 を使った料理紹介 の週もあります	生産現場から特産 品や農業振興策に ついての紹介もあ ります	週末イベントの紹介 や、たむたむの野菜 レッスンの日もあり ます



いざ収録!

生産者の方、リポーター、カメラマンのみなで入念に確認し合いながら、収録は進みます。



オープニングダンスを
踊ってもらう事もあるよ



ほ場やハウス、
加工室など、
色んな場所で
収録しているよ

出演者の紹介



なん ば さ や
難波 紗也 リポーター

出身地 岡山県岡山市

誕生日 1月12日 (山羊座)

趣味 食べ歩き・プチ旅行・写真を撮ること

特技 動物と仲良くなれること
(特に犬にはよくなつかれます)

得意なスポーツ ウォーキング



ふる まい さ よ
古米 沙世 リポーター

出身地 岡山県岡山市

誕生日 12月28日 (山羊座)

趣味 旅行、カメラで写真を撮ること、服屋さん巡り

特技 さっとイラストを描くこと

得意なスポーツ バドミントン



みや もと た く み
宮本 大句見 気象予報士

出身地 愛媛県大洲市

誕生日 6月13日 (ふたご座)

趣味 資格試験の勉強、
Jリーグ観戦

特技 英会話(簡単な会話程度)

得意なスポーツ 弓道



モモ・ブドウづくりについて話す入江さん

モモ栽培には年間を通して様々な工程があります。どの作業も品質に影響するため気が抜けません。大変

―苦勞すること・楽しいこと

モモの栽培面積は、今年20%増やして合計80%となりました。「白鳳」や「なつごころ」をはじめ9品種のモモを栽培しており、7月上旬から収穫が始まり、9月中旬まで続きます。ブドウは5坪の温室で「シャインマスカット」や「マスカット・オブ・アレキサンドリア」などを栽培しています。

聞き手…JA岡山広報担当

ほ場や作業場の整理整頓を進めたことで、作業効率が向上してきました。今年で就農6年目となりますが、毎年一歩一歩成長していると感じています。今後はさらに栽培技術を磨き、おいしいモモを安定して生産し、消費者の皆さまにお届けしたいと考えています。

また、富吉地区は昔からモモやブドウの栽培が盛んな地域です。私たちも、甘味とほのかな酸味のバランスが絶妙な「大和白桃」を栽培しています。これからも地域の農業やブランドを守り、次の世代へとつなげていきたいです。



毎年が私たちの一歩一歩



来年に向けせん定は重要な作業

子どもの頃からモモ畑にいた

―就農したきっかけは

9月3日、津高地区の入江勢起さん、入江浩子さんご夫婦にお話を伺いました。

両親がモモとブドウの農家で、小学校の頃からモモ畑で遊んでいました。間引いたモモの実を投げて遊んだり、高校の時は、畑にゴザを敷いて勉強をしていました。いつもモモ畑にいたような気がします。

両親の手伝いをしながら、モモやブドウの作り方を徐々に勉強しよう

と、思っていました。就農してすぐに父が体調を崩したので一緒に作業をすることができませんでした。それでも父が今まで培った技術を聞きながら頑張りました。

―農業を始めてからは

あつて、こんなおいしいモモを作れたらいいなと、一緒に農業を始めました。

―今後の抱負は

1年ごとに進化していく

この時期は、収穫後のせん定作業に取り組んでいます。 unnecessary 枝を取り除いて樹の形を整えることで、風通しを良くして病害虫の発生を抑えることができます。また、樹全体に日が当たるようにすることで、品質の揃ったおいしいモモが育ちます。

おいしいモモをつくりたい 家族でUターン



農
を担う
vol.303

入江 勢起さん 浩子さん 夫婦

津高（富吉）地区：モモ・ブドウ農家

「いりえ せいき」昭和58年生まれ。両親と妻「ひろこ」、子ども2人の6人家族。

④ 一宮選果場果樹部会モモ部に所属。趣味は小学生から続けているサッカー。

ファジアーノ岡山の観戦と、今も週一回はフットサルを楽しむ。座右の銘は「笑顔を絶やさず、健康第一」



野菜(タマネギ)

冬の間にしっかりと根を作るのがポイント



営農部指導課 岸野 真美

●タマネギについて

毎日の食卓に欠かせないタマネギは、家庭菜園の定番の野菜です。4月下旬に収穫できる早生品種から、長期貯蔵ができる晩生品種、また、彩りのきれいな赤タマネギなどさまざまなタイプの品種があるので、使い方によって選んで栽培してみましょう。

●畑の準備

タマネギは栽培期間の長い野菜です。排水性が悪い畑だと病気が発生したり貯蔵中に腐敗する原因となるので、排水性の良い畑を選びます。

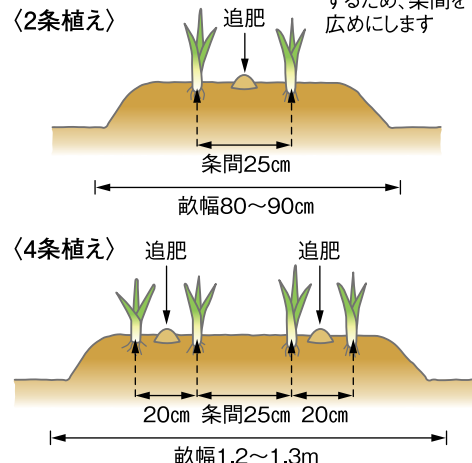
また、タマネギは酸性土壌に弱い典型的な野菜です。定植の2週間前に10平方メートルあたり30kgの完熟堆肥と、苦土セリカ2号等を1.2kg施用して土作りをしておきます。定植の1週間前にはJA岡山専用有機肥料等を1.2kgと、よりりんを600g施用して畝を立てます。畝幅は2条で80cm、4条植えで1.2m、1.3mくらいとします(資料1)。

地温上昇、雑草防除、水分保持などのためにはマルチ栽培が有効で「たまねぎ穴あき黒マルチ」や「透水マルチたまねぎ名人」の使用をおすすめします。マルチをする時は良く碎土して、雨の後など土に十分水分がある時にマルチングします。その場合は、追肥ができないので「たまねぎ専用一発肥料」を使います(資料2)。

●苗の植え付け

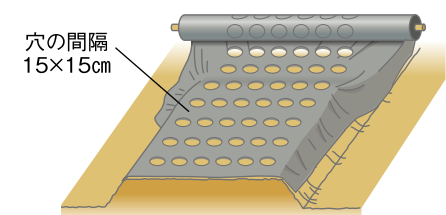
植え付け適期は11月上旬から中旬

資料1 植え付け



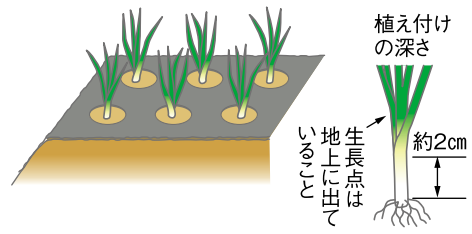
資料2 マルチング

地温上昇、雑草防除、肥料の流亡防止、水分保持などのために穴あきの黒色マルチがおすすめ

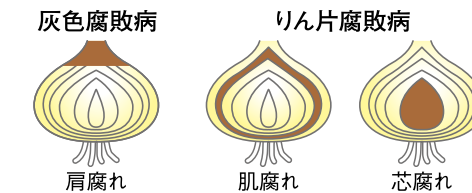


植え付け

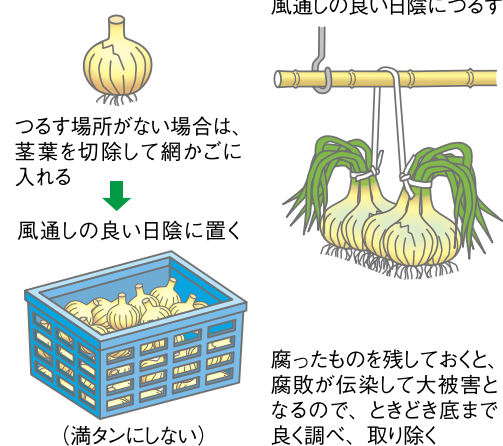
指先で差し込んで、株まわりの土を手で押さえる



資料3 貯蔵中の病気



資料4 貯蔵



自家育苗した苗は、苗取り前日に十分灌水をして、なるべく根や葉を傷めないように掘り取り、定植まで根を乾燥させないようにします。苗は根が白く、株元の太さが7mmくらいの大きすぎず、小さすぎないものを選び、深さ2〜3cmに植え付けます。条間20〜25cm、株間12cmとし、植え付け後は灌水しスムーズに活着させます。

3月中旬以降の遅肥は避けず。タマネギは冬の間に根を張ります。冬期に雨が少なく乾燥する場合は暖かい日の午前中に灌水し根の伸長を促します。また、春期の球の肥大期に晴天が続く土が乾いたら灌水をしましょう。

●病害虫防除

春先に多発するべと病は、冬期から予防を始めます。定植して1カ月後には薬剤防除を行い、冬期生育の悪い越冬罹病株の抜き取りを行います。3月中旬頃から予防殺菌剤を散布します。

●収穫・貯蔵

収穫はタマネギの茎葉が7〜8割倒れてきたら収穫適期です。天気の良い日が3〜5日続いた後に抜き取り、その後は畝の上で乾かしてから、風通しの良い涼しい所で貯蔵します(資料4)。

花き(リンドウ)

秋の花? リンドウ



営農部指導課 中川 雄一

●リンドウ(竜胆)

秋になると(9〜11月)リンドウの鉢植えが店頭にかくさん並びます。この花は古くから日本人になじみ深く秋を代表する花の一つです。

切り花としては、極早生からさまざまな品種があり、7月には花屋さんで見られ、盆や秋彼岸にも欠かせません。美しく日持ちも良いので、花束にリンドウが入っているとワンランク高級になる印象です。

岡山県産の切り花の中でも、冬のスイートピーやブプレウラムに並んで大切な推進品目で、実は岡山県は西日本一のリンドウ産地なのです。

JA岡山では加茂川地域で、県オリジナル品種などを生産していて、7〜9月の間、とても品質の良い切り花を大阪市場に出荷しています。

資料5 リンドウの系統と品種



(左上:ササ系)花弁の裏は地味で開花すると美しい
(右上:エゾ系)花弁全体が発色
(下)覆輪や白花品種もあります。

資料6 営利栽培用苗 冬、地上部が枯れて無くなったリンドウの株



5月、セル苗を植え付け、1年間養成して、切り花開始は翌年から。
ひと夏養成した株には、冬至芽ができ、翌2月頃から伸びだして、夏開花します。

資料7 自生地でのフリンドウ(上2枚)と里山にもあるツルリンドウ(下)



左の写真が全草、かわいいリンドウ。



写真の左右にも長いツルがあります↑

花言葉は「勝利」「正義感」「高貴」「誠実な人柄」など、前向きなもの揃い、「紫」が高貴な花色とされてきたことや、薬草としても利用されることなど、珍重される植物だったことからでしょうか。

●この花の特性と栽培

きれいなリンドウを身近にしていきたいのですが、この花の栽培には注意点がいくつかあります。

①涼しい環境が好き

日当たりを好むので、日向で栽培したいのですが、夏の高温は特に苦手です。加茂川で推進しているのも、標高が高くて夜涼しい条件を生かすためです(全国的には岩手県や長野県、県内では新見市や新庄村など冷涼地に産地があります)。暖かいところの栽培は難しい花です。

品種によっても強弱があり、切り花に多いエゾリンドウ系よりも、鉢植えで良く見るササリンドウ系品種が幾分強く、県内の山地に自生するのもササリンドウ系です(資料5)。

反対に耐寒性は強く、2月、わずかに気温が上がらしたら株元の芽が伸び始めるほどです(資料6)。いつも水を飲んでいた、乾燥が苦手です。夏の高温対策に

遮光ネットをかけることもあります。鉢植え栽培なら夏の間半日陰に移動することができず。

その時に心配なのが「水切れ」!とても水を必要とする植物ですから、一度の水切りのダメージで悪くすると枯れてしまいます。

地植えでもいつも水を絶やさないよう気を付けましょう。ただし、土中の通気も必要、いつも水がたまっている状態では根腐れします。

③環境がいいと生育は旺盛

順調に育つと、とても良く根が張ります。鉢植えですぐに根がいっぱいになるので大きめの鉢に植え替えが必要で、根がいっぱいになると水切れしやすくなります。地植えでは数年間植えたままになるので、良質堆肥(畜糞はできるだけ避けます)を使って、広く深い作土を作る事、前の土づくりが大切です。

④酸性土壌が好き

土壌酸度でいうと、5〜5.5くらいが好適、水田などではそのくらいのとこもあり、ピートモスなどの酸性資材を施用して調整するのが一般的です。カルシウムも必要ですが、苦土石灰などを使うとアルカリになるので、畑のカルシウムな

ど、アルカリ化しない資材を選びます。

●栽培のながれ

切り花経営用には、種苗会社などから5月に苗を買って植え付けるところから始め、その後も栽培マニュアルに従って管理します(興味のある方はJAにご相談ください)。しかし、苗を少量買うことは難しいので、家庭では、店頭などで鉢植えかポットの株を買って植え付けることになります(時期は株を入手した時になります)(資料6)。その後は、特性の注意点を参考に、緩効性肥料で適宜追肥しながら生育促進します。

●岡山にも自生するリンドウのなかまササリンドウ系のリンドウ以外にも自生があります(資料7)。

○フリンドウ

写真はゴールデンウィークのころ、きれいに草刈りされた明るい山頂に咲いたものです。わずか6〜10cm、草に覆われても絶えてしまいうような貴重な自生地です。

○ツルリンドウ

その気度探すと里山でも見つかるツルの花。半日陰のところでも見かけます。花後についた赤い実を見つけないと、ありません。

果樹

(植え付け・カンキツ類収穫・貯蔵)

植え付けのコツは
水分を十分に与え
乾燥させないこと



営農部指導課
祇園 将人

冬季から管理、対策を始めることで
品質・収量低下等を防止することが
できます。

基肥や堆肥の施用は早めに行い、落
葉の処理や施設の点検整備などもこの
時期に行いましょう。

●果樹苗木植え付け

落葉果樹苗木の植え付け時期は12月
(仮植えをした場合は2月下旬～3月)、
柑橘類(常緑果樹)は2月下旬～3月
となります。

・苗床の準備

植穴は、肥料等をなじませるため、
定植予定の1～2カ月程度前までに準
備しておきます。

苗木1本につき、直径80～100cm、
深さ50cm位の穴を掘るのが理想です。
しかし、この深さまで掘るとなると大
変なので、難しい場合は、深さ30cm程
度は掘るようにしましょう。掘った穴
には石灰類(苦土石灰・苦土セルカ等)、
リン酸類(BMよりりん等)各1kgと
完熟堆肥(良く発酵したもの)約15kg
を良く混和して埋め戻します。その時
に表土を20cm程度盛り上げるようにし
ておきます(資料8)。ただし、ブルー
ベリーやヤマモモの場合は、酸性土壌

を好むため石灰の代わりにピートモス
を施用しましょう。

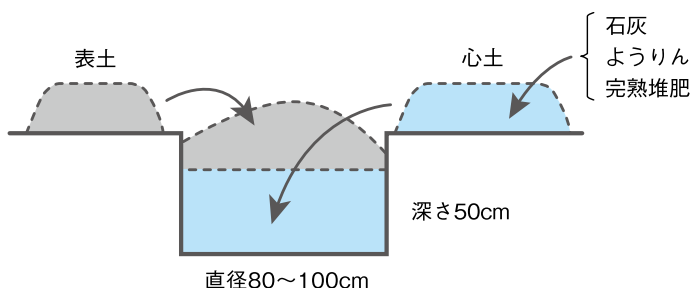
・植え付け

購入苗の根は乾かさなないように管
理し、植え付けの前に半日ほど根を
バケツ等で水につけて吸水させます。

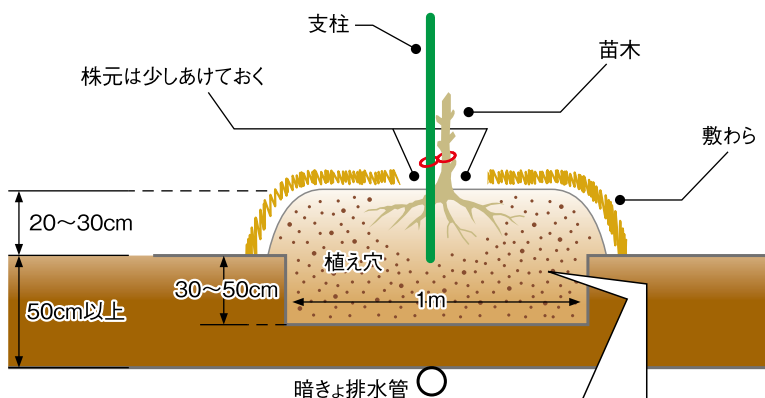
植え付け時には、根が交差しない
よう四方に広げ、根の先端が下方に
なるように配置し、細かい土で軽く
覆土し、直ちに十分灌水します。そ
の後覆土を十分に行い、また灌水しま
す。その際、台木との接ぎ木部位は
地上に出るようにします。

植え付け後、株元に稲わらなどでマル
チし、土壌の乾燥を防ぐとともに、生育
初期の雑草を防ぎましょう(資料9)。

資料8 植穴の準備



資料9 果樹苗木植え付け



- ・接ぎ木部を地上に出し、
深植えにならないように
注意する。
- ・接ぎ木苗は、接ぎ木部の
30cm程度上で切り返す。

- ・完熟堆肥を容積比5～10%
- ・ようりん、苦土石灰(土壌分析
を参考にする)
- ・土壌条件によってはピートモス、
パーライトを容積比5～10%追加
する。

接木苗は接ぎ木部から30cm程度の
ところで切り返し、支柱に誘引します。

●カンキツ類の収穫と貯蔵について

・収穫

極早生温州は5分着色以上で収穫
を始め(10月上旬)、早生温州以降は
完全着色した果実を11月上旬から、
普通温州は11月下旬から、晩生温州
は12月上旬から収穫します。岡山県
では冬の寒さで果実が冷害を受ける
ので温州みかん、晩柑類(八朔・甘夏
等)も全て年内に収穫します。

レモンやユズは、10月中旬以降に果
汁が最も多くなるので、果汁用はこの
時期に収穫します。

・貯蔵

中生以降の温州みかん、八朔、夏
みかん等は収穫果を収穫コンテナ等に
8分詰め(満杯詰めをすると蒸れて腐
りやすい)し、風通しの良い倉庫で貯
蔵します。年内貯蔵はコンテナの上に
ゴザ等を掛け、年を越す貯蔵はムシ口
等の厚手のもので覆います。完全に密
閉すると蒸れて腐敗するので風が通る
ように少し隙間をあげましょう。



作り方

- ①さんまの頭を落として内臓を取りのぞき、水でよく洗う。
キッチンペーパーなどで水気を拭きとり、半分に切る。
- ②熱したフライパンにサラダ油を引き、さんまの両面に焼き目をつける。
- ③炊飯器に洗ったお米、Aの調味料を入れ、水を2合の目盛りまで足して軽く混ぜる。焼いたさんまを乗せ、炊飯する。(通常の白米モードでOK)
- ④シソ、ミョウガを千切りにし、ミョウガは1分ほど水にさらして、水気を拭き取る。
- ⑤ごはんが炊きあがったら、さんまの骨、尾、ひれを取りのぞいて、④を加えてざっくりと混ぜこむ。お好みの大きさのおにぎりにしたら完成!

JA岡山農産物レシピ

さんまと 香味野菜の 炊き込みおにぎり

ポイント

さんまを焼くひと手間が、
ごはんをより一層おいしくしてくれます!

材料 (2合分)

お米	2合
さんま	1尾
サラダ油	小さじ1
●A	
顆粒和風だし	小さじ1と1/4
料理酒	大さじ1
みりん	大さじ1
塩	2つまみ
水	適量
シソ	4~5枚
ミョウガ	1~2個



25周年を彩るJA岡山の農産物と 食の安全・安心を担う岡マーク



JA岡山管内では、この25年間でさまざまな農産物が生まれ育ち、私たちの食卓を彩っています。米では、「アケボノ」「朝日」「ヒノヒカリ」の栽培が盛んで、近年、高温耐性品種として「きぬむすめ」「にこまる」の栽培面積も増えています。また、果物では、モモ・ブドウ栽培150周年を迎える「くだもの王国おかやま」で夏の味覚の代表として「白鳳」「清水白桃」「おかやま夢白桃」「白皇」などの白桃、ブドウでは「ピオーネ」「シャインマスカット」の栽培が盛んで、共に市場より高い評価を得ています。

平成12年には、「岡」の商標登録を行い、JA岡山青果物の統一ブランドとして食の安全・安心を守り続けています。

これからも、地域の農産物の魅力をPRし、皆さまの食卓に笑顔と元気をお届けしていきます。農業の素晴らしさをもっと伝え、みんなで応援していきましょう!

編集担当 弘末彩香



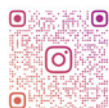
各種媒体で情報発信



オンラインショップ
はなやか
オンライン



Instagram



JAOKAYAMA.OFFICIAL



YouTube



広報誌「はなやか」
意味

水彩画や油絵を描くときに絵具をまぜあわせて色をつくる板のこと。
特色ある地域の様々な情報をうまく調和させながら、地域と共に歩むという願いがこめられています。